

## NCPモデルシステム 第1号 完成

1 寮に、到着するや「これは、ひょっとして」即、調査「やっぱり」稲の穂がでていない箇所や・花が咲いたばかりの状況、稲にとっては、水が一番必要な時期、寮の水田は、たっぴりと、水を蓄えてある。



改修予定の処理槽（男子寮）



（女子寮）

すなわち地下水が高く、穴を掘ると水が湧き仕事ができない！！

「この様子だと後、一ヶ月以上は、だめ！！「あきらめた！？」

今回寮は、次の準備のための既設の状態確認・埋設配管の状況調査、実施設計・及び電気関係緊急作業（寮・幼稚園）のみに予定変更とした。

後続の、お手伝いの3人（システムアドバイザーの安藤さん・ファイアーエンジニア岡村さん・総合アシスタントの本東地さん）の仕事として残しておいた。

2 寮生は、農繁期休業のため、当番（5、6人）を残してそれぞれの村へ帰ってお手伝い、2日後からパヤオ奨学生10名がシーカーアジア奨学生合同合宿（パヤオから陸路500km南のチェンカーン寮へ）の計画があり、許可を得て、参加することにしたが、・・・

セーンサイ村・クンガムラン村が気に掛かって仕方ない・・・

次の日セーンサイ村を尋ね村のトイレ調査をした。

・・・「もはや大変な状況」（汲み取りに経費がかかるため生が垂れ流しの状況今年から1回の汲み取りが100バツ値上がりし300バツになって汲み取りはできずやむを得ず溢れる屎尿を溝で低地導きそこらじゅう・・・だらけの状況を目の当たりにした。）

急遽、チェンカーンへの合宿を取りやめ最悪の家庭1戸に絞り施工することを決定した。

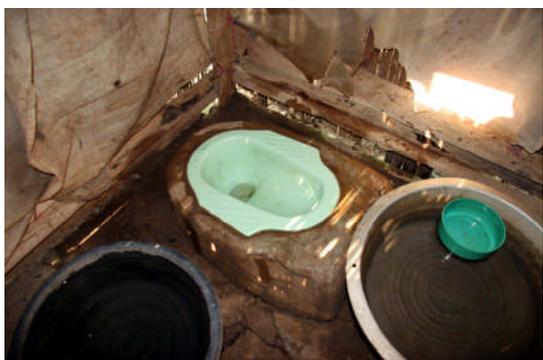
設置を決定したセイチャン宅の状況



糞尿の流出



使用中のトイレ



便器と水洗のたらい



施工先のセイチャン宅

3 早速、次の日から資材屋さんを駆けめぐり井側・セメント・砂利・砂・パイプ等現地に運んでもらう、作業員は、施工先の家族・村の住人・寮生で取りかかった。



設置箇所の選定



掘削中（いずれも160cm 掘る）

- ・ 一帯は、粘土層だが、当所の底部は、小石混じりのため掘削に2日を要した。
- ・ 崩れない土質のため土留めは、不要。
- ・ 防水処理は、処理剤を混入し念のため、モルタル2回仕上げとした。



配管完了



粘土採集



粘土による地盤加工



集水管の穴あけ



装置の器基礎完成



補強のための素焼き

- ・素焼きは、粘土が十分乾燥した後徐々に温度を上げ、最終800度を望む。
- ・この後、籾殻による蒸し焼きをした。

消化槽の漏水テスト 浸潤装置組み立て

- ・2日間のテスト漏水の無いことを確認。
- ・浸潤マットは、麻製で2重構造とした。
- ・器内の重量支持竹は、内部容量を考慮し節に穴を開けた。
- ・点検パイプは、前後2カ所とし、専用蓋を取り付けた。

- ・畑土には、籾殻等くん炭を30%混入し付近の地表面土を使用した。
- ・3人の皆さんが到着するまでに完成の予定で無理のない工程を計画した。
- ・その結果・・・皆さんが到着する前日に完成した。



畑・浸潤装置完成



完成記念写真（2005.10.28）

- 残件事項
- ・蓋の加工（花用植木鉢の設置）
  - ・畑の形状（土盛り整形）
  - ・野菜苗の植え付け

10月28日午後3人の助っ人が到着早速セーンサイ村に行き安藤アドバイザーに確認してもらった。

評価は、「第一号としては上出来。これからの経過観察が楽しみです。」